



聖日礼拝プログラム

アドベント第2週

今週のみことば

「ご覧ください。私は主のためです。おことばどおり、どうぞ、あなたのために。」
ルカ 1:38



司会者 中西廣義兄 奏楽者 渡邊頼子師

讃美
主の祈り
讃美
交読
祈禱
報告
コーラス
聖書
ドラマ
説教
献金
頌栄
祝禱

新 84 ああベツレヘムよ (起立) 一同
(起立) 一同

新 68 久しく待ちにし
イザヤ 9 : 1 ~ 7

司会者
司会者
有志者
司会者
有志者

ルカ 1 : 26 ~ 38

「恵まれた母マリヤ」

イ 94 ベツレヘムに生まれて
新 63 父、御子、御霊の (起立) 一同

渡邊貞雄師
佐々木幸子姉
(起立) 一同

受 = 真理 姉 / 操 = 福田 姉 / A = 中川 兄 / 報 = 牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会
TEL 0598 (29) 1780 主任 牧師 渡邊 貞雄
FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊 頼子

2019年12月8日 VOL. 42-49 No. 2249

URL <http://matukyo.com/>
Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 先週は寒さも増し加わった一週間でした。今週はアドベント(待降節)の第2週目です。
- ▼ 本日は、ビデオによる合同組会で、「エステル勇戦記」(プリンセス・オブ・ペルシャ)の最終回の鑑賞となります。
- ▼ 今日もアドベント礼拝の中では、コーラスとドラマを予定しています。よろしくお祈りいたします。
- ▼ 12月のCCPN誌(中部教区祈

りのネットワーク)が発行されました。11日(水)の祈禱会でも、覚えてお祈りいたします。

- ▼ 先週の日曜にアメリカから帰られた青木兄が、初めて礼拝にご出席されました。これからのためにぜひお祈りください。



にれ はみ

2019年12月1日
聖日礼拝
ルカ1:5~25
「喜びの知らせ！」
説教 渡邊貞雄 師



ザカリヤ夫妻の物語。ヘロデ王の治世はBC37年~BC4年。時代は外見的に繁栄、だが民は神殿再建の重税、宗教的な世俗化と形骸化で悩んでいた。

I、この二人の紹介

ザカリヤは祭司職で「神に覚えられている者」の意味。エリサベツは祭司アロンの娘「神こそ私の幸い」の意味。二人とも神の前に、道徳的に倫理的(律法)には正しい人でしたが、子供がなく長く祈りの課題であった。

子がないことは、神から呪われた恥かしいこととされ、離婚の理由ともなった(サラ、ハンナも同様)。彼はくじで罪を贖う代表として、犠牲を献げる重大な責任に直面しました。

II、神殿で何があった？

ザカリヤは神殿の中で神のみ使いと直面、気が動転し冷静さを失い、恐怖に襲われた。また「恐れることはありません。あなたの願いが聞き入れられました」(13)と声をかけられた。マリアや羊飼いの声も同じ声をかけられた。

天使から子の名を「ヨハネとつけなさい」と語られたが、ヨハネとは「主は恵み深い」の意味であった。

神は旧約の族長、士師、王、預言者

を経て、このヨハネを通して恵みを与えようとしたのでした。まさに恵みの時代の幕開けであったのです。そのことがもたらす結果は、家庭に喜びが溢れ、民の中に喜びが渦巻き溢れる時代になることを約束されたのでした。

III、ヨハネの使命

それは「基本的な人間関係の回復」。「主に立ち直らせる」(16)とある。聖霊の力は、悪の社会を変化させ、個人的変化で神に立ち返らせ、神を認めて神を恐れる生き方をさせること。家庭にも「父たちの心を子供たちに向けさせ」る変革であった。また社会的な変化として、不従順な者(反社会人)を主の救いを受けるようにすることでした。

ザカリヤはこれを聞いた時、信じませんでした。その代わり①もう歳です。②もうずっと現状維持で、今更信じられませんと応えてしまいました。彼らは、願いと祈りは必ず聞き届けられることを改めて認識させられたのでした。

ザカリヤはこの不信仰により、10ヶ月間も口をきくことができず、ペンと手話による不自由を味わい知ることになりました。残念！

世界のニュース



◎飼い葉おけの木片が、
約1300年ぶり里帰り
イエス・キリストが誕生

した時に寝かされていた飼い葉おけの一部とされる木片が11月30日、イタリアから1300年を超す時を経て、生誕地のパレスチナ自治区ベツレヘムに里帰りした。幅1センチ、長さ2・5センチほどの木片は7世紀、聖地を管理するフランシスコ修道会にバチカン（教皇庁）から寄贈されていた。

パレスチナ自治政府のマフムード・アッバス議長が2018年12月にバチカン市国を訪れた際、フランシスコ教皇に木片の返還を要請していた。ベツレヘムの広場で信者らが見守る中、フランシスコ修道会のフランチェスコ・パットン神父は聖遺物である木片を納めた豪華な容器を手にし、聖誕教会に隣接する聖カテリナ教会へ運び、そこでミサを行った。

◎「足利学校は日本文化の力」 教皇が上智大で言及

来日していたローマ教皇フランシスコが上智大学で26日に行った講話の中で、足利学校（足利市昌平町）に言及、「日本文化の力を示す良い例」などと話していたことが分かった。産経新聞が11月30日報じている。

上智大学は修道会イエズス会の設立で、イエズス会を創設したメンバーの1人が1549（天文18）年、日本にキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエル。

ザビエルが来日した戦国時代、足利学校は最も盛んな頃で、ザビエルはインドに送った書簡で「日本で最も有名で最も大きい大学」等と紹介している。

教皇は講話で「ザビエルが感銘を受けた足利学校はさまざまな見聞から得られる知識を吸収、伝播するという日本文化の力を示す良い例」などと話したという。

◎祈祷会12/4（水）「捜し、捜して」

頼子師 ルカ2:16、19:10

主は、日常の中で捜し当てることのできるお方です。数秒、数分、数時間の中で。また主は、捜すときに捜し当てることのできるお方です。見届けて来ようとした羊飼いたちは、捜し当てたのです。

そして私たちは、実は主に捜されていたのだと気がきます。どこから来てどこへ行くのか分からなかった者、居るべきところ

が危うかった者、御旨からそれている者、主は二の次の者、失われた者、捜されていた者だったのだと。

新しく主を捜し当てるクリスマスをと祈ります。



こ れ か ら の 集 会 来 週 の 奉 仕 者

- ◎12/8 (日) ビデオ合同組会
- ◎12/8 (日) アドベント第2週開始
- ◎12/11(水) 中部教区CCPN祈禱会
- ◎12/15(日) アドベント第3週開始
- ◎12/22(日) 聖 誕 記 念 礼 拝

◆今週の祈禱会 (司) 中西兄 (説) 渡邊師

- 来週礼拝ルカ 1 : 57 ~ 80
- 主 題 「ヨハネの誕生」

定 期 集 会 の ご 案 内

- ◇楽しい組会 (日) 午前10:00~10:45
- ◇聖日礼拝 (日) 午前11:00~12:00
- ◇早天祈禱会 (火土) 朝 6:30~7:00
- ◇祈 禱 会 (水) 午後7:00~8:15

- ◎ 礼 拝 司 会 中 川 兄
- ◎ 礼 拝 奏 楽 頼 子 師
- ◎ 礼 拝 献 金 山 口 姉
- ◎ 受 付 中 西 兄
- ▽ 教 会 学 校 随 時
- ▽ ヤ ン グ 随 時
- ▽ ア ハ ン 小 坂 姉
- ▽ ホ レ ブ 北 村 兄
- ▽ 教 会 ナ ビ 教 役 者
- ▽ 昼 食 当 番 な し
- ▽ ア ッ シ ャ ー 福 田 姉
- ▽ S S 入 力 中 川 姉
- ▽ P P T 操 作 中 川 姉

《 《 《 2019年スローガン「愛は建て上げる ~会い・合い・愛~」 エペソ4:16 》 》 》
「キリストによって…組み合わされ、つながり合われ、…愛のうちに建てられる」

格言 名言集

- 自分の弱いところを隠そうとしたり、否定したりするのは、かなりのパワーを必要とする。そのパワーが立ち直りのためのパワーのロスになっ

てしまう。だから自分を素直に認めることが大切。

奈良橋陽子
(作詞家 演出家)



礼拝の心得

- ①聖書のヨハネ4:24には以下の様に勧められています。「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」



- ②始まる時間と、5分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。

- ③賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。
- ④語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のことばに耳を傾けましょう。
- ⑤献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心からの喜びをもっておさげしましょう。
- ⑥その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。
- ⑦やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師(教会)に連絡をしましょう。